NIPPON ANTENNA

取扱説明書

各TV端子上りカット／パス切換スイッチ付ダミースイッチ内蔵型直列ユニット

HF・FM・VHF・UHF・BS-IF・CS-IF帯域用（10～2602MHz対応）〔TV端子台色交換型〕

●この度は、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特 長

1. TV1端子、TV2端子はそれぞれ上り回線帯域の10～55MHzをハイパスフィルタでカット（片方向）／パス（双方向）を切換スイッチにより切換でき、下り回線帯域の70～2602MHzを通過します。
2. TV端子はダミースイッチ内蔵型ですので、空端子時でも電圧定在波比が安定しています。
3. ケースは亜鉛ダイカスト製、裏ブタはプレス固定式で、電波の漏洩や飛込み対策に効果があります。
4. 取付プレートは2個用に対応しています。また、市販取付枠にも取付可能です。
5. 端子台を別の色に交換したい時は、直列ユニット用色交換TV端子台（別売）をお使いください。

2端子型

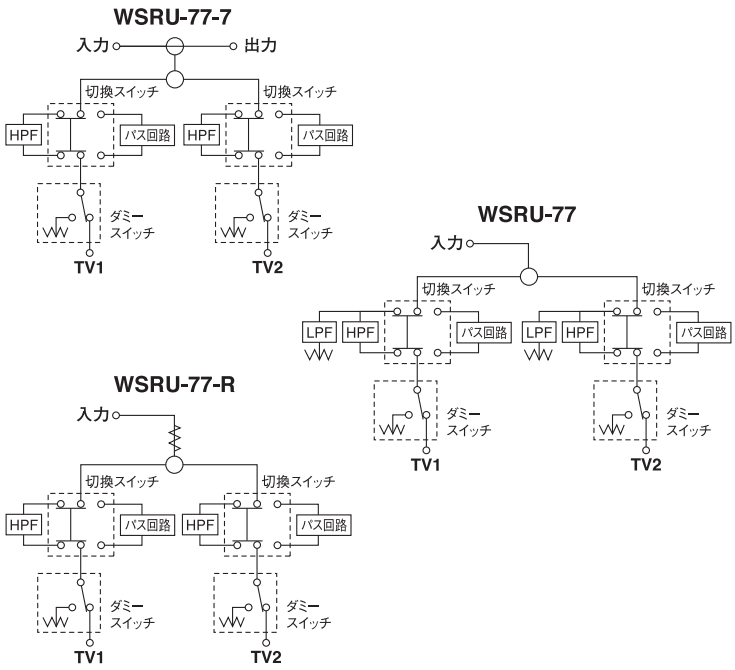
●WSRU-77-7
中間用

●WSRU-77
壁面端子

●WSRU-77-R
端末用

（インターネット対応品）

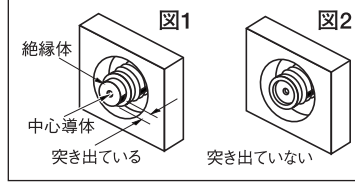
■系統図

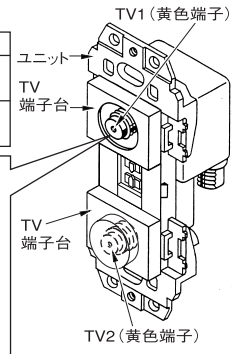


●ダミースイッチの動作

状態図	接続	ダミースイッチ回路
図1	未接続	75Ωダミー終端（ダミー“入”）
図2	接続	信号直通（ダミー“切”）

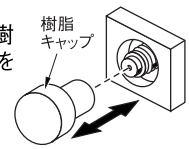
●ダミースイッチ動作状態





●TV端子部にダミースイッチ保護のため、樹脂キャップが取り付けられています。端子を使用しないときは、取り付けてください。

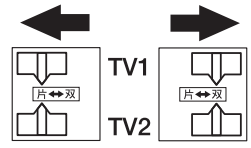
※イラストはWSRU-77-7の例です。



●TV1、TV2切換スイッチの操作方法

中央部のスライドスイッチを止まるまで確実に操作してください。

工場出荷時はTV1、TV2端子とも上りカット片方向伝送になっています。



TV：上りカット
片方向伝送
70～2602MHz
（10～55MHzカット）

TV：上りパス
双方向伝送
10～2602MHz

■標準性能表

型 名	周波数帯域（MHz）	挿入損失（dB以下）	結合損失（dB以下）		分配損失（dB以下）		逆結合損失（dB以上）	端子間結合損失（dB以上）	インピーダンス（Ω）			電圧定在波比（以下）	寸法（mm）高さ×幅×奥行	質量（g）
			片方向	双方向	片方向	双方向			入力	出力	TV端子			
WSRU-77-7（中間用）	10～55	1.8	40以上	15	——	——	20	15	75	75	75×2	※ 2.0	110×43.6×37.7	100
	70～90	1.8	17	15	——	——	25	20				2.0		
	90～770	2.0	17	16	——	——	20	18				2.0		
	770～1336	2.5	19	18	——	——	18	15				2.0		
	1336～2150	3.5	20	19	——	——	15	15				2.5		
	2150～2602	4.0	21	20	——	——	15	15				2.5		
WSRU-77（壁面端子）	10～55	——	——	——	40以上	5.0	——	13	75	——	75×2	※ 2.0		95
	70～90	——	——	——	7.0	5.0	——	20				2.0		
	90～770	——	——	——	7.0	6.0	——	18				2.0		
	770～1336	——	——	——	8.0	7.0	——	15				2.0		
	1336～2150	——	——	——	9.0	8.0	——	15				2.5		
	2150～2602	——	——	——	10.0	9.0	——	15				2.5		
WSRU-77-R（端末用）	10～55	——	40以上	13	——	——	——	15	75	——	75×2	※ 2.0		95
	70～90	——	15	13	——	——	——	20				2.0		
	90～770	——	14	13	——	——	——	18				2.0		
	770～1336	——	16	15	——	——	——	15				2.0		
	1336～2150	——	17	16	——	——	——	15				2.5		
	2150～2602	——	18	17	——	——	——	15				2.5		

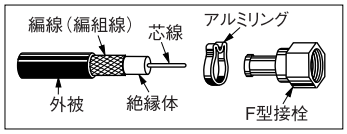
※片方向時、TV端子は除く　　●使用温度範囲 −10～+40℃

●同軸ケーブル加工法とF型接栓取付方法

◆用意するもの

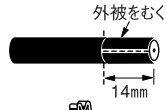
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■ケーブルの名称（75Ω用）



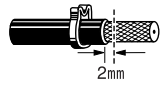
●アルミ箔付同軸ケーブル（FB型）の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



❷ 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。

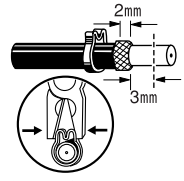
❸ 外被から2㎜程度はなして編線（編組線）をていねいに切り落としてください。



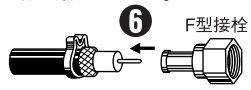
❹ 編線（編組線）をめくりあげます。

ポイント 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。

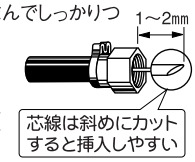
❺ 編線（編組線）から3㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。



❻ F型接栓を絶縁体（アルミ箔）と編線（編組線）の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



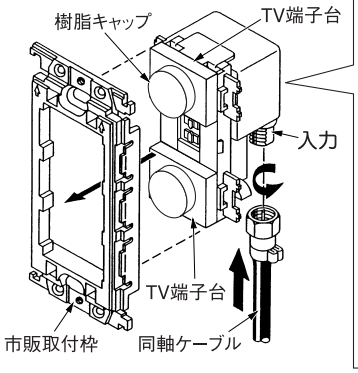
❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。長くしますと接栓座を破損します。



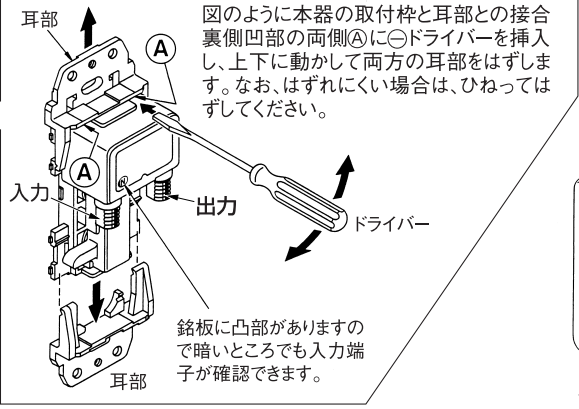
ポイント 芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

■取扱方法

●ケーブルの取付

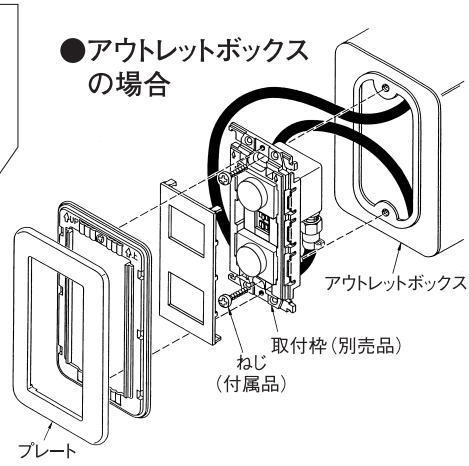


●市販取付枠に取付ける場合



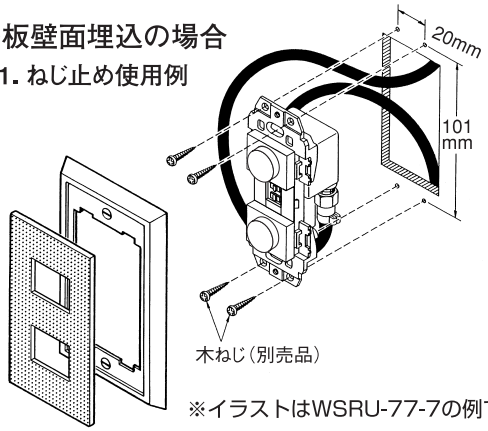
図のように本器の取付枠と耳部との接合裏側凹部の両側Ⓐに⊖ドライバーを挿入し、上下に動かして両方の耳部をはずします。なお、はずれにくい場合は、ひねってはずしてください。

●アウトレットボックスの場合



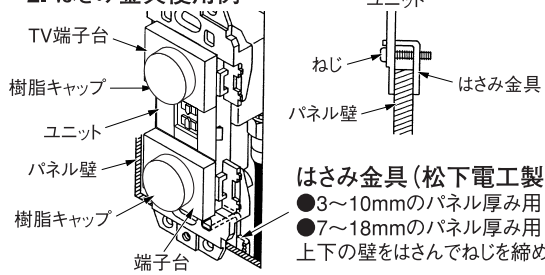
●板壁面埋込の場合

1. ねじ止め使用例



※イラストはWSRU-77-7の例です。

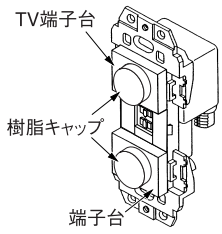
2. はさみ金具使用例



はさみ金具（松下電工製）

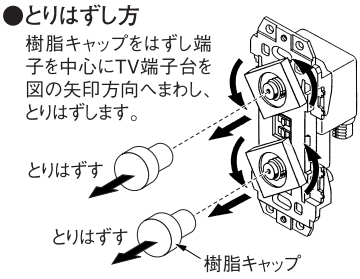
●3～10mmのパネル厚み用 WN3990
●7～18mmのパネル厚み用 WN3993
上下の壁をはさんでねじを締めます。

●TV端子台の交換方法

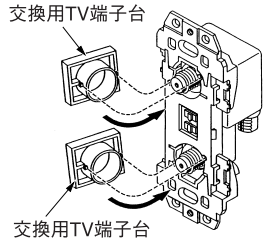


●とりはずし方

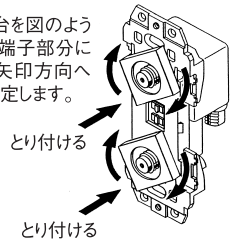
樹脂キャップをはずし端子を中心にTV端子台を図の矢印方向へまわし、とりはずします。



●とり付け方



TV端子台を図のように傾けて端子部分に取付け、矢印方向へまわし、固定します。



⚠注意 樹脂キャップは子供が誤って口に入れないように注意してください。

ポイント

●ボックスはJIS C 8336に準じますが、奥行が40㎜ 未満の場合には取付、配線できないことがあります。本器、ボックス、ケーブルの寸法、設置方法等をあらかじめ考慮した上でご使用ください。

●F型接栓の適正締付トルクは2.94～3.92N·m（30～40kgf·㎝）です。4.9N·m（50kgf·㎝）以上では締付けないでください。接栓部が破損する原因になります。

●ワンタッチプラグを使用して受信レベルを測定する場合は、EIAJ規格C13相当品を使用し、奥までしっかり挿入してください。奥まで挿入しないと、レベルが正しく測定できないことがあります。

●TV端子使用時は、必ずF型接栓を使用して確実に締付けしてください。FPプラグなどのワンタッチプラグを使用されますと、ダミースイッチが正しく動作しないことがあります。

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
WSRU（A01） D820009502　平成16年7月